

# 重症心身障害児者及び医療的ケア児者実態調査結果等概要

千葉県障害福祉事業課

## 1 調査目的

県内の重症心身障害児者及び医療的ケア児者の全数実態調査を行い、地域年代別人数や当事者ニーズを把握し、障害福祉施策の検討及び支援体制構築の基礎資料を作成することを目的とした。

## 2 調査対象

### (1) 重症心身障害児者（平成30年4月1日時点で3歳以上）

18歳未満で発症し、運動機能が座位までで、かつIQ35以下の障害児者を対象とした。

### (2) 医療的ケア児者（平成30年4月1日時点で1歳以上）

18歳未満で発症し、日常的に医療的ケアが必要な児者を対象とした。

## 3 調査内容

氏名、性別、生年月日、住所、運動機能と知的発達の段階、手帳の取得状況、現在の生活の拠点、就学状況、日常的に必要な医療的ケアの内容、アンケート「利用希望があるが利用できないサービスの項目と利用できない理由」「今困っていること、あるいは将来不安に思っていること」等

## 4 調査方法

業務委託による。

委託先：社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハビリテーションセンター

※ 医療、福祉、教育、行政の各機関に対して調査対象者への調査票の配布等調査に係る協力を依頼し、調査対象者から直接又は各機関を通じて調査票を回収した。

## 5 調査時期

平成30年7月25日から平成31年3月12日まで

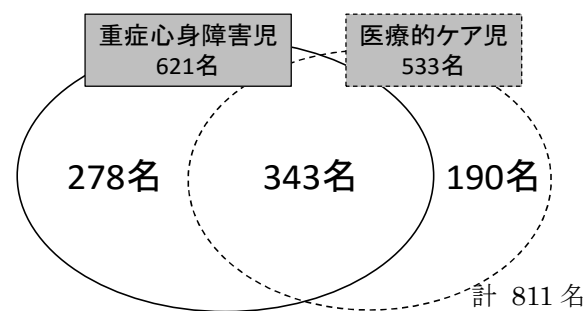
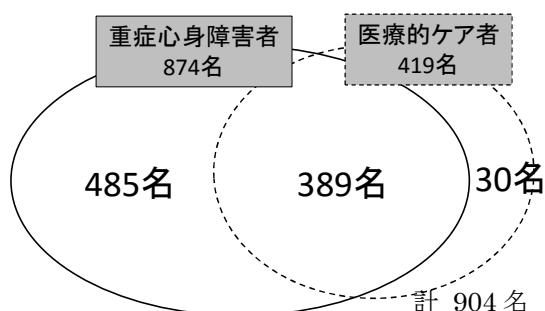
## 6 調査結果概要

### (1) 重症心身障害児者及び医療的ケア児者の人数、その生活拠点

	人数	在宅	施設	病院
重症心身障害者	874	398	466	10
重症心身障害児	621	516	92	13
合計	1,495	914	558	23

	人数	在宅	施設	病院
医療的ケア者	419	206	203	10
医療的ケア児	533	431	76	26
合計	952	637	279	36

### (2) 重症心身障害児者と医療的ケア児者の関係



(3) 結果・分析

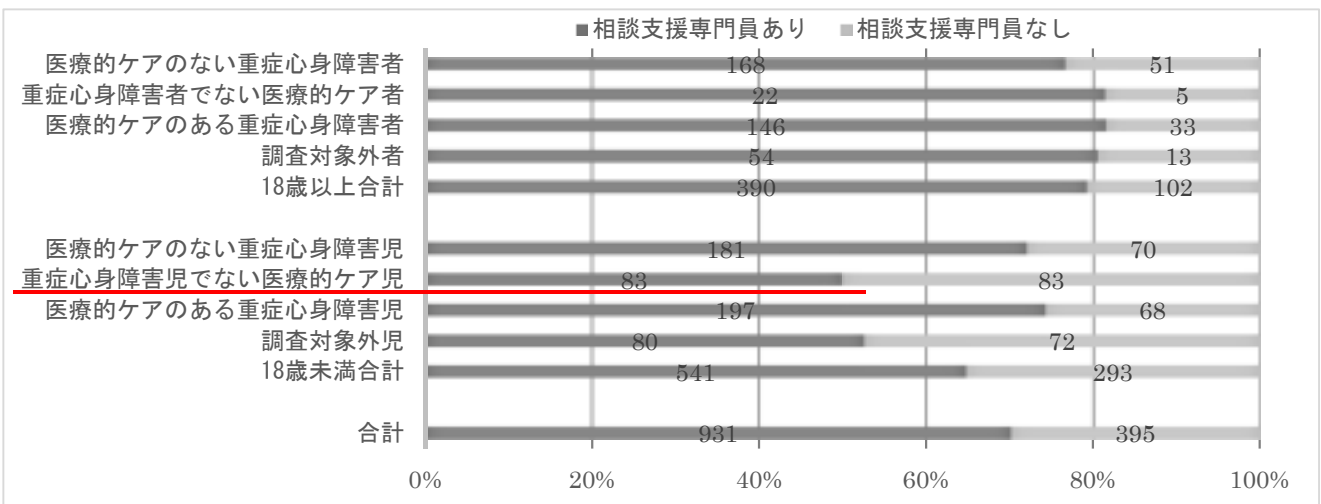
- ▶ 実名調査としたことで精度の高い調査となり、重症心身障害児者は人口推定値の約8割、医療的ケア児は在宅療養指導管理料のレセプト件数推定値の約7割の実名調査票の回答を得ることができた。
- ▶ 医療的ケア児の64%は重症心身障害があり、重症心身障害児の55%は医療的ケアが必要であった。
- ▶ 医療的ケア者の93%は重症心身障害があり、重症心身障害者の45%は医療的ケアが必要であった。
- ▶ 重症心身障害でない医療的ケア児は、低年齢児が多く、相談支援専門員の利用率が低く、保育園や幼稚園での障害児保育や単独通園（預かり）療育の利用を希望している、などの特徴があった。
- ▶ アンケート調査に回答した在宅生活者が「利用したいが十分に利用できないサービス」は、施設での短期入所(42%)が最も多く、次いで入所施設(26%)、医療施設でのレスパイト入院(24%)が多かった。

○重度心身障害でない医療的ケア児の特徴

低年齢児が多い

年齢 2018.4.1現在	A+a				B+b				C+c				A+a+C+c			
	医療的ケアのない重症心身障害児者				重症心身障害でない医療的ケア児者				医療的ケアのある重症心身障害児者				重症心身障害児者			
	合計	在宅	施設	病院	合計	在宅	施設	病院	合計	在宅	施設	病院	合計	在宅	施設	病院
1歳以上3歳未満	0				63	49	4	10	0				0			
3歳以上6歳未満	44	42	2	0	42	38	3	1	83	69	10	4	127	111	12	4
6歳以上9歳未満	59	52	7	0	37	35	1	1	85	64	14	7	144	116	21	7
9歳以上12歳未満	49	45	4	0	24	23	1	0	55	42	13	0	104	87	17	0
12歳以上15歳未満	54	46	8	0	16	14	1	1	69	51	17	1	123	97	25	1
15歳以上18歳未満	72	66	6	0	8	7	1	0	51	39	11	1	123	105	17	1
18歳以上21歳未満	45	39	6	0	7	6	0	1	47	33	13	1	92	72	19	1
21歳以上24歳未満	40	28	12	0	1	1	0	0	59	44	14	1	99	72	26	1
24歳以上27歳未満	44	28	16	0	7	6	1	0	51	33	18	0	95	61	34	0
27歳以上30歳未満	35	22	13	0	1	1	0	0	33	17	16	0	68	39	29	0
30歳以上33歳未満	45	31	13	1	2	2	0	0	24	14	10	0	69	45	23	1
33歳以上36歳未満	42	20	22	0	5	5	0	0	32	11	18	3	74	31	40	3
36歳以上39歳未満	24	11	13	0	0	0	0	0	32	11	20	1	56	22	33	1
39歳以上42歳未満	25	11	14	0	2	2	0	0	27	11	16	0	52	22	30	0
42歳以上45歳未満	36	4	32	0	1	1	0	0	23	4	19	0	59	8	51	0
45歳以上48歳未満	31	5	26	0	1	0	1	0	22	1	20	1	53	6	46	1
48歳以上51歳未満	24	8	16	0	2	2	0	0	15	0	13	2	39	8	29	2
51歳以上54歳未満	34	4	30	0	0	0	0	0	7	0	7	0	41	4	37	0
54歳以上57歳未満	22	2	20	0	1	1	0	0	9	0	9	0	31	2	29	0
57歳以上60歳未満	7	1	6	0	0	0	0	0	2	0	2	0	9	1	8	0
60歳以上	31	5	26	0	0	0	0	0	6	0	6	0	37	5	32	0

相談支援専門員の利用率が低い



保育園や幼稚園での障害児保育や単独通園（預かり）療育の利用を希望（在宅障害者児アンケート調査）

利用希望があるが利用できていないサービス	合計	重症心身障害児・者および医療的ケア児者								対象外の児・者	
		重症心身障害者（～2000.4.1） 医療的ケア者（～2000.4.1）			重症心身障害児（2000.4.2～2015.4.1） 医療的ケア児（2000.4.2～2017.4.1）					D	d
		A	B	C	a	b	c				
		医療的ケアのない重症心身障害者	重症心身障害でない医療的ケア者	医療的ケアのある重症心身障害者	医療的ケアのない重症心身障害児	重症心身障害でない医療的ケア児	医療的ケアのある重症心身障害児	対象外の児	対象外の児		
調査表回答者数	1326	425	219	27	179	682	251	166	265	67	152
アンケート回答者数	822	256	128	17	111	447	160	106	181	35	84
A 在宅訪問医療（診療所）	97	34	17	2	15	53	18	9	26	0	10
B 入院可能な専門医療機関（病院）	84	34	15	6	13	32	12	5	15	7	11
C 成人になっても入院可能な医療機関（病院）	100	43	20	4	19	38	15	5	18	7	12
D 歯科診療	65	22	12	1	9	31	9	8	14	5	7
E 訪問歯科	80	23	13	3	7	43	10	9	24	5	9
F 病院でのリハビリ	78	26	11	3	12	37	13	12	12	3	12
G 訪問看護	49	16	6	2	8	23	8	3	12	3	7
H 訪問リハビリ	98	29	13	3	13	50	17	10	23	5	14
I 訪問薬局	62	18	7	3	8	37	12	9	16	2	5
J 医療施設でのレスパイト入院	196	60	15	3	42	116	22	23	71	6	14
K 居宅介護（ヘルパー）	84	38	19	2	17	33	13	5	15	2	11
L 移動支援（ヘルパー）	118	42	22	2	18	53	19	10	24	10	13
M 訪問入浴	107	37	20	2	15	54	26	6	22	3	13
N 単独通園（預かり）療育	102	7	2	1	4	85	19	31	35	2	8
O 親子通園療育	32	5	1	1	3	20	5	4	11	1	6
P 保育園や幼稚園での障害児保育	103	5	0	1	4	82	13	48	21	0	16
Q 放課後デイサービス	159	8	3	2	3	130	46	25	59	0	21
R 特別支援学校での医療的ケア対応	45	3	0	1	2	39	3	13	23	0	3
S 学校卒業後の通所	156	19	4	4	11	111	55	10	46	2	24
T 入所施設	216	88	42	5	41	105	40	14	51	8	15
U 施設での短期入所	345	138	69	9	60	163	70	22	71	18	26
V グループホーム	137	68	38	5	25	42	21	6	15	14	13
W 計画相談・障害児相談支援	43	6	0	2	4	30	17	3	10	2	5
X 福祉タクシー	80	22	10	3	9	41	11	7	23	3	14

合計欄における項目回答者数の色塗りは、アンケート回答者 822 名に対して、24%以上の回答があったサービス項目を濃色、12～24%の回答があったサービス項目を薄色に塗っている。

対象者別の欄については、対象区分別アンケート回答者数に対して、30%以上の回答があったサービス項目を濃色、20～30%の回答があったサービス項目を薄色に塗っている。

〇在宅生活者が「利用したいが十分に利用できないサービス」（在宅障害者児アンケート調査）

利用希望があるが利用できていないサービス	項目の回答者数	サービスを利用できていない理由						
		1 入院・入所中	2 本人が望まない	3 施設等がない・定員に空きがない	4 医療的ケアに対応していない	5 子どもの体調・症状等により預ける事が不安	6 希望するサービスの利用条件ではない	その他
A 在宅訪問医療（診療所）	97	2	6	42	7	1	26	15
B 入院可能な専門医療機関（病院）	84	3	6	33	7	17	17	15
C 成人になっても入院可能な医療機関（病院）	100	1	3	49	6	21	17	14
D 歯科診療	65	3	9	14	11	6	10	13
E 訪問歯科	80	3	10	31	8	2	12	16
F 病院でのリハビリ	78	3	4	41	3	4	12	16
G 訪問看護	49	2	6	11	7	3	17	6
H 訪問リハビリ	98	5	8	41	3	4	25	18
I 訪問薬局	62	2	1	28	4	1	16	10
J 医療施設でのレスパイト入院	197	5	7	135	17	29	31	15
K 居宅介護（ヘルパー）	84	2	7	23	14	10	25	11
L 移動支援（ヘルパー）	118	1	8	39	16	14	41	16
M 訪問入浴	107	3	13	24	4	9	35	21
N 単独通園（預かり）療育	102	2	1	51	31	16	12	9
O 親子通園療育	32	2	1	10	3	5	9	5
P 保育園や幼稚園での障害児保育	103	1	1	45	47	19	13	5
Q 放課後デイサービス	159	3	7	89	44	15	24	8
R 特別支援学校での医療的ケア対応	45	1	3	3	15	8	13	11
S 学校卒業後の通所	156	2	3	107	30	10	23	12
T 入所施設	216	1	7	167	18	27	24	14
U 施設での短期入所	345	3	21	229	51	56	38	23
V グループホーム	137	0	7	87	25	13	25	6
W 計画相談・障害児相談支援	43	3	2	21	3	1	5	11
X 福祉タクシー	80	0	5	14	7	4	37	22

項目回答者数の色塗りは、アンケート回答者 822 名に対して、24%以上の回答があったサービス項目を濃色、12～24%の回答があったサービス項目を薄色に塗っている。

サービスを利用できない理由の欄の色塗りは、サービス項目回答者数に対して 50%以上の回答数があった理由項目を濃色、30～50%の理由項目を薄色に塗っている。

## 7 結果の活用

- 市町村ないしは圏域毎の医療的ケア児等の支援協議会等において、結果等をもとに、全県や他地域との比較、サービスの提供状況とニーズに表れている項目との差の把握などを行うことで、地域の課題を洗い出し、支援体制の整備・構築に向けた施策の検討に活用できるよう、本調査結果及び同意の得られた在宅生活児者個々の調査カードを市町村に提供する。

(参考) 障害福祉圏域別の人数 (在宅)

(単位：人)

		医療的ケアのない重症心身障害者	医療的ケアのある重症心身障害者	重症心身障害でない医療的ケア者	医療的ケアのない重症心身障害児	医療的ケアのある重症心身障害児	重症心身障害でない医療的ケア児
千葉	204	36	46	6	48	40	28
船橋	91	20	10	3	30	19	9
柏	65	8	7	0	16	21	13
習志野	63	9	7	0	16	19	12
市川	84	12	13	0	23	21	15
松戸	136	29	21	5	23	33	25
野田	22	7	2	1	5	2	5
印旛	122	29	17	6	14	38	18
香取	26	5	7	0	5	6	3
海匝	51	7	7	0	15	11	11
山武	34	6	4	0	6	12	6
長生	40	9	10	2	7	7	5
夷隅	9	2	3	0	2	2	0
安房	26	6	1	0	7	9	3
君津	71	18	14	2	17	13	7
市原	63	16	10	2	17	12	6
計	1,107	219	179	27	251	265	166
		425			682		